

# 第 1 ・ 2 学年国語科学習指導案

日 時 令和 2 年 1 0 月 1 5 日 (木)  
対 象 (1 年生 6 名) 2 年生 2 名  
指導者 小野寺 育子

## 1 単元名 そうぞうしたことを、音読げきであらわそう 教材名 「お手紙」(光村図書 2 年下「赤とんぼ」)

### 2 単元の目標

- (1) 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。  
〔知識及び技能〕(1) ク
- (2) 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1) エ
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

### 3 単元について

#### (1) 児童について

- ・「スイミー」では、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することや、あらすじをまとめたり感想をもったりすることを学習した。
- ・物語を読んで内容や感想を伝える力はついてきている。

#### (2) 教材について

- ・本教材は、友達の不幸せを共に悲しみ、幸せを共に喜ぶ、ほのぼのとした心情を描いた作品である。
- ・「がまくん」と「かえるくん」の行動を中心に、場所や時間の移り変わりがはっきり描かれており、「登場人物の行動を具体的に想像すること」をねらいにした本単元において、適材である。

#### (3) 指導に当たって

- ・本単元における言語活動  
○読んで想像したことをもとに、簡単な体の動きを付けて音読劇をする。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫等
- ◆西中学区視点①【学習意欲の向上について】  
○二人の心情を想像するために、「声の出し方」「体の動き」「顔の向き」などの観点を与える。  
○二人の行動から想像したことや、それをどのように音読で表したいかを、本文に書き込ませる。
- ◆西中学区視点②【言語活動の充実について】  
○登場人物の声の出し方や体の動きなど、想像したことや音読の工夫について、ペアで伝え合ったりアドバイスし合ったりするように指示する。

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1) ク	①「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1) エ	①場面の移り変わりに沿って、登場人物の気持ちとその変化を想像しながら読もうとしている。

## 5 指導と評価の計画（8時間）

	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の範読を聞き、学習の見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P11の挿絵を見たりリード文を読んだりして、物語の内容を想像させ、意欲付けをする。</li> <li>学習の見通しがもてるように、表情や口調や簡単な動きを工夫した範読をする。</li> </ul>	<p>【態】「お手紙」の音読劇に進んで取り組もうとしている。（観察）</p> <p>【知】語のまとまりに気をつけて音読している。（音読）</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の行動を確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P24の下段「たしかめること」を手掛かりにして場面を分け、登場人物やその主な行動を整理できるようにする。</li> </ul>	
第二次	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>悲しい気分で玄関の前に腰を下ろすがまくんとかえるくんの行動を具体的に想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「だれも」「お手紙なんか」「空っぽ」に着目してがまくんがどのように座っていたか考えるように指導する。</li> <li>がまくんの悲しさを表すために、「ああ。いちども。」の口調を工夫するように促す。</li> <li>同じ悲しみに沈むかえるくんの様子を想像できるように、「ふたりとも」悲しい気分になった理由を問う。</li> </ul>	<p>【思】登場人物の行動やその理由、表情、口調、様子などを想像している。（音読・発言・ワークシート）</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>がまくんに手紙を書くかえるくんの行動を具体的に想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大いそぎで」「とび出しました。」に着目して、かえるくんの行動の理由を問う。</li> <li>少しでも早くがまくんを喜ばせたいかえるくんの行動を、家に帰ってからの畳み掛けるようなリズムの描写を音読することを通して、想像できるようにする。</li> </ul>	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙を待つかえるくんと諦めるがまくんの行動を具体的に想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「のぞきました。」の動作化と、「まだやってきません。」の繰り返しから、かえるくんの行動とその理由を想像できるようにする。</li> <li>手紙をすっかり諦めているがまくんの様子や行動を想像できるように、一の場面では玄関の前に座っていたがまくんがベッドで昼寝していたのはなぜかを問う。</li> </ul>	
	6 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>二人で手紙を待つかえるくんとがまくんの行動を具体的に想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がまくんの手紙への期待感が想像できるように、諦めていたがまくんが手紙を待つ気になったのはなぜかを問う。</li> <li>14・15ページの挿絵と22・23ページの挿絵を比べ、玄関に座る二人の表情や様子の違いに気づけるようにする。</li> <li>気持ちが通じ合うことの喜びを想像できるように、書いてあることが分かっている手紙を「ふたりとも、とてもしあわせな気持ち」で待っていたのはなぜかを問う。</li> </ul>	<p>【思】登場人物の行動やその理由、表情、口調、様子などを想像している。（音読・発言・ワークシート）</p>

<p>第 三 次</p>	<p>7 ・ 8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 声の出し方や動きなど、音読の工夫を書き込み、それをもとに練習する。</li> <li>・ 音読劇を1年生の前で発表し、単元全体の学習を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どのように読むか、どんな動きをするか、本文に書き込み、アドバイスし合いながら練習するように指示する。</li> <li>・ 想像したことを声の出し方や動きの工夫で表現できるようになったことを、音読劇を通して自覚できるようにする。</li> </ul>	<p><b>【態】</b> これまでの学習をいかし、想像したことを音読劇に表そうとしている。 (音読・観察)</p>
----------------------	----------------------	--	--	--

## 6 本時の指導（6時間目／全8時間）

### （1）目標

二人で手紙を待つかえるくんとがまくんの行動を具体的に想像することができる。

### （2）展開

形態	段階	学習活動 ・予想される児童の姿 ※「伝え合い交流シート」参照	・指導上の留意点 ◎評価 ◆西中学区視点
共通指導	導入 5分	1 学習課題を確認する。	・がまくんがお手紙のことを知る場面の学習であることを確かめる。
		ふたりは、書いてあることが分かっている手紙を、どうして、長い間まっていたのだろう。	
間接指導		2 学習の見通しをもつ。	
間接指導		3 手紙を諦めていたがまくんが待つ気持ちに変わった訳を読む。 ○3の場面後半を音読する。 ○かえるくんが手紙を出したことを知ったがまくんの様子を想像する。 ○がまくんの様子の変化を想像しながら音読を工夫し、ペアでがまくん役を交替しながら聞き合う。	・がまくんが手紙を待つ気持ちに変わったことが分かる言葉を探しながら音読するように指示する。 ・「きみが。」「お手紙に、なんて書いたの。」「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」の音読の仕方を、声の出し方、体の動き、顔の向きを観点に工夫するように指示する。
直接指導	展開 30分	4 二人が、書いたことが分かっている手紙を待っていた訳を想像する。 ○がまくんが手紙を長い間待っていた訳を想像する。 ○かえるくんががまくんといっしょに手紙を待っていた訳を想像する。 ○二人が手紙を待ちながらどんなことを話したかを想像して、吹き出しに書く。 ○二人の話したことをペアで伝え合い、感じたことや分かったことを言う。	・手紙にどんなことを書いたのかを聞いたのに、がまくんが玄関に出て手紙を待った訳を問う。 ・手紙に何を書いたかを伝えたのに、かえるくんもいっしょに手紙を待っていた訳を問う。 ・14・15ページと22・23ページの挿絵を並べ、二人の表情や様子を比べるように促す。 ◆①二人が手紙を待っている訳を想像して、吹き出しに書くように指示する。 ◆②ペアで吹き出しに書いたことを伝え合うように指示する。 ◎【思】登場人物の行動やその理由、表情、口調、様子などを想像している。 (音読・発言・ワークシート)
共通指導	終末 10分	5 二人が長い間手紙を待っていた訳を発表しなりきって音読する。	・地の文は一文ずつ交代で、会話文はペアで役を決めて音読するように指示する。
		6 学習の振り返りをする。 ○ワークシートに振り返りを書く。	・板書を活用して叙述を根拠として想像する力が高まったことを価値付け自己評価につなげる。
		7 次時の学習内容を確認する。	

・「あきあきしたよ。」から「ああ。」に変わるがまくんは、お手紙が本当に嬉しかったんだと思いました。「ああ。」を読むとき、嬉しさを込めて音読したいです。  
・がまくんの「しあわせ」が伝わったから、かえるくんまで「とてもしあわせ」になったんだと思いました。肩を組んでいる挿絵からも、本当に幸せそうだなと思いました。

(3) 板書計画



そうぞうしたことを、音読げきであらわそう

③ ふたりは、書いてあることが分かっている手紙を、どうして、長い間まっていたのだろうか。

1 ③のばめんの後の方を音読する。  
2 がまくんの気もち  
「きみが。」  
「お手紙に、なんて書いたの。」  
「ああ。」  
「とてもいいお手紙だ。」  
3 ふたりが、手紙を長い間まっていたわけ

はじめでもらうお手紙だから、早くじぶんで読みたいな。きみが親友でよかったな。

手紙をこんなによろこんでくれるなんて、書いてよかったな。親友っていいものだな。

**手紙を出した方も、  
もらった方も、  
とてもしあわせな  
気もちだったから。**